

今回は「カタールの自然の風景」についてです。

カタールに広がる厳しい自然

カタールに住んでいると日本の自然の豊かさを思い出します。日本には美しい四季があります。そして緑が溢れ、雨が降り、空気が澄んでいて本当に美しい国だと思います。一方カタールはというと季節の変化が少なく、緑はほとんどありません。雨は降らず、空気は埃っぽくて…なんだかカタールの悪口のようになってしまいます。しかしこのような自然環境下でも、昔から人々が生活を営み、この土地を大切にしてきた人々がいることを考えると、そのような言葉で表現するのは申し訳ない気がします。

カタールの強く美しい自然の風景をピックアップしてみたいと思います。

カタールに広がる土漠と砂漠

カタール全体は大部分が土漠と呼ばれるドーハの郊外へ出ると石灰質の土地が広がります。ごつごつとした石灰岩が転がり全体的に白い風景になります。雨が降らない上にこの土壌なので多くの植物は生息できません。右の写真のようなわずかな植物が点々と生息するだけです。植物の特徴は多肉茎の葉をもち、根が深く、夜露によってできる水分を体の中に蓄える事ができる仕組みを持っています。

カタールの南部へ行くと砂漠が広がります。細かい砂が風に吹かれて風紋を形成し、どこまでも続く砂漠はいかにも中東らしい風景です。余談ですが、カタールの観光で人気なのがこの砂漠を大型 SUV で駆け抜ける「砂漠ツアー」です。ジェットコースターのような勢いで砂の山を乗り越え、砂漠を駆けめぐるとツアーです。



自然の造形・奇岩群

カタールの半島の東側には下の写真のようなおもしろい形をした奇岩がいくつか見られます。大きなものは20mほどの高さがあります。穴が空いたもの、テーブルやキノコのような形をしたものなど様々です。長い年月をかけて雨や砂混じりの風による侵食で柔らかい部分の岩が削り取られ、写真のような奇岩が形成されたと言われていています。おもしろい形なので一見の価値があります。

またカタールの自然の風景で最も美しいのは夕日が沈むシーンです。雲が少なく空気が澄んでいる日は、砂漠に沈んでいくきれいな夕日を見ることができます。

